

今回は、いよいよ佳境に入って来たトリアスロン検討実行委員会についてレポートしたいと思う。当委員会は、中央会内で正式に組織・支援されている部署もしくはメンバーが円滑に活動できるようにサポートする、今年1月から発足した委員会である。委員会活動もこれまで8回と今年5月の委員会発表会を数え、正規の委員会とほぼ遜色無い活動を行っている。毎回熱い議論が交わされ、時には午前0時を越えての議論があり、危なくて到底議事録に載せることの出来ない話が飛び出したりと全く気の抜けない討論会である。第8回検討会（9月11日）はトリアスロン皆生大会終了後初めてという事もあり、大会の報告・反省を各部署から発表してもらった。また岩崎副競技委員長より「今大会への取り組みは今年5月のトリアスロン検討会発表会もあって今までになく充実していました。運営のご協力ありがとうございました。」との言葉を頂いた。

この検討会、次回より最終段階へと突入して行く。つまり、今後中央会がトリアスロン運営にどう携わっていくか、3~5年後を見据えた上で再検討し、答申を出していく作業に入っていくのである。将来、卒会等による会員減少は避けられない状況で現在担当している4つの部署（ボランティア部、マラソン部、河端AS、境港AS）を運営出来るか、中央会も皆生トリアスロンも生き残る為にはどうすれば良いか、中央会内で答申をまとめる段階に来ているのは確かである。

皆、皆生トリアスロンに対する思いは様々である。ともすれば皆生トリアスロンを良くする為の議論になりがちである。しかしながら、将来の中央会の為にしっかりとした答申を出し、皆生トリアスロン実行委員会へ上申するという事が今、我々に課せられた最大の義務ではなからうか。とにかく、今後のトリアスロン検討会からは目が離せない！

※検討会の見学も出来ます。検討実行委員会の渡辺まで連絡下さい。

（広報：渡辺一徳）



言わしてごしない Part 3

「目には目を！」

米国同時多発テロ事件発生から数日が経とうとしています。いまだに、5,000名もの行方不明者があり、途方もない悲しみと怒りで世界中が包まれています。米国はその間に、驚くべき速さで犯行グループを特定し、「世界対テロリスト、自由主義対テロリズム」という対立図式を掲げ、各国の同意と協調を取り付けることに成功しました。米大統領は「もはや戦争である。」として軍事力による報復攻撃の準備を整えつつあります。本紙が発行される頃はNATOはじめ各国も出動・支援態勢に入っているものと思います。事件当初の世論調査によると、米国民の約8割が報復攻撃に賛成していると報道されています。「テロ許すまじ！目には目を！」と。

紀元前3,500年前、現在のイラクを中心に栄えたメソポタミア文明。そこで世界最古の文字が生まれ、明文法典「ハンムラビ法典」が制定されました。「もしある市民が、他の市民の目をつぶすならば、彼の目をつぶさなければならない。」人類が初めて制定した法の原則。そして、現在、西アジア一帯で広く使用されているイスラム法もまた、基本的にこうした同刑罪の原則の上に成り立っています。

最新鋭ジャンボ機による超高層ビル破壊、衛星探査と地下壕攻撃ミサイルによる報復。まさに「目には目を！歯には歯を！」。五千年のながきに渡って、人類はいったい何を進歩させたのかと、茫漠たる思いがします。

9月例会で湯原委員長が「独り言」としてお話された「テロは憎むべき許されぬ行為。しかしながら、軍事力による報復で、関係のない市民がまた悲しい思いをすることは望まない。」に、私は心から賛成するものです。まして、我が国のイージス艦が日の丸を掲げて、米国と軍事行動をともにし、罪のない人々に不安と悲しみをもたらす行為には絶対反対するものです。「他に方法はないのかよ…」情けなくて涙が出てきます。いまだに行方不明のかた、また犠牲となった方々とそのご家族に、心からのお悔やみを申し上げます。そして、時間がかかってもいいから、もうこれ以上、悲しい思いをする人が一人も出ないような解決策を見い出してもらいたいと願っています。子供や女性の泣き顔をこれ以上増やさないで！

（情報メディア：畠山広幸）

自宅住所変更のお知らせ

総務委員会 遠藤健司委員
旧 境港市元町25番地
新 境港市中野町5060番地

コピーをして名簿にお貼り下さい

New カ マ ー ズ		まつもとまさひこ 松本政彦 O型 （株）鳥取銀行米子支店 銀行業 〒683-0802 米子市東福原1丁目1-15 TEL 33-1441 FAX 39-0158 (KT)090-3376-4582 H13.08入会 (推薦者) 境田(敬) 中澤(伸) 〈自宅〉境港市渡町914 〒684-0072 S.44.8.12 TEL 45-0998

先月掲載したNewカマーズ委員会の松本政彦委員の職場の電話番号が間違っておりました。

改めて掲載し、深くお詫び申し上げます。

10月役員会報告

10月定例役員会が平成13年10月1日（月）、米子食品会館に於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 10、11月例会開催の件
- (2) 全国大会、海外研修参加の件
- (3) 余芸大会参加の件
- (4) その他

※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

10月例会案内

と き 平成13年10月15日（月） 19：00～
と ころ ホテルサンルート米子
講 師 （財）発明協会鳥取県支部内鳥取県知的所有権センター
特許電子図書館
情報検索指導アドバイザー 奥村隆一氏
演 題 「知的所有権の重要性とその理解並びに活用について」

天声秀語

ある雑誌を読んでいた、「伸びている会社は「ノウハウ」をすすんで同業他社に公開している」という記事がありました。

企業でも個人でも、「既得権」に固執したり、「他者」を排除することが多い中で「与える」ことによって会社（個人）を強くしていく姿勢には共感を覚えます。

以前、糸井重里さんはこれを「おすそわけ」と表現していましたが、経済活動の主体が「生産」ではなく「市場」であるとするならば「おすそわけ」という精神はとても大切だと思います。

会社も個人も、情報や技術を抱え込んで競争を拒んでばかりいると、「市場」の手痛いしっぺ返しを喰らうことになりかねません。

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 岩田慎介 編集責任者 萬田寿夫 印刷所 東京印刷株式会社

9月例会報告

平成13年9月17日（月）「ホテルサンルート米子」において情報メディア委員会（若槻聡委員長）担当の9月例会が開催された。

綱領唱和の後、岩田会長の挨拶があり、続いて毎月委員長が自由にスピーチ等が出来る「委員長タイム」が行われた。今月は湯原俊二委員長（きずな委員会）が担当した。その後、皆生トリアスロン実行委員会の石尾実行委員長が先のトリアスロン大会での当会の活動に対しての御礼を述べられ、来年の協力を要請された。

今月は(有)デジタルネットプラン代表取締役の長井英夫氏を講師として迎え、「企業に活かせるIT情報の現状と将来」という演題で講演を拝聴した。同氏は、「財団法人鳥取県産業振興機構経営革新アドバイザー」・「財団法人鳥根産業振興財団専門家派遣事業アドバイザー」などの要職も兼務されており、企業ITアドバイザーとして鳥取・島根両県で活躍されている方である。

冒頭、LANで接続した2台のパソコンを使い、画像と音声を双方向に送受信するというネットミーティングのデモンストラーションが行われた。その後、インターネット環境の変化や企業がITを活用する際のポイントなどについて、業態別に成功事例を挙げながら講演が行われた。

同氏によれば、インターネット環境は、パソコンの常時接続料が低価格化しており、ブロードバンド化による情報の伝達スピードが高速化に動いていることから、数年後には、インターネットを利用したTV会議などが非常に安いコストで行えるようになるとの事であった。また、ITを活用したビジネスは、ただホームページを開設すればよいというものではなく、システムの見直しやデータベースの再構築を行い、顧客にとって利用し易いものでなければならないということであった。そしてコンピュータの向こうに人が見える仕組み作りも成功するための重要な要因であるということであった。

今後更に普及するITにより、我々のような地方の中小企業が東京など大都市のマーケットでビジネスをすることが出来るというチャンスでもあるが、距離や時間の壁がなくなることにより、目に見えないライバルとの競争の始まりでもあると改めて感じさせられた例会であった。



ハンサム記事原稿の募集

この「ハンサムNo.167」で今年度の広報委員会は3部の広報紙を編集したことになります。毎回、思考を重ね編集しているつもりではありませんが、当初から目指している広報紙となっているのでしょうか？皆様はいかがお考えですか？

そこで大募集いたします!!

「言わしてごしない」

これは会員からの目安箱。青年中央会への意見、会員に知らせたい身近に起こった出来事などは是非ともご投稿下さい。たとえばこのハンサムに対するご意見でもOK!!

「イベントの事前告知」

所属企業に関係する業界内イベントや展示会等を事前に告知できます。会員、OBの皆様のビジネスに繋がる場として有益に使って下さい。

投稿先：FAX 34-7512 《メールアドレス》LDY00155@nifty.ne.jp（桶村迄）

締切り：毎月20日

「言わしてごしない」は氏名（ペンネーム）・連絡先を列記して下さい。

「イベントの事前告知」は日時（期間）・場所・内容、氏名を列記して下さい。

毎月届く「ハンサム」を心待ちにいただけるよう広報委員会は努力しつづけます!!

（広報委員長：桶村清子）

県青中親睦事業について

9月22日(土)、気高郡鹿野町にて毎年恒例の県青中親睦事業があった。本年度は東部主催ということで西部会員20数名は朝早くからバスに乗り、ビール片手に鹿野町へと乗り込んだ。

まずはそば道場でそば打ち体験。西部の会員に限らず、ほとんどが初体験のため悪戦苦闘の連続。しかし、できあがったそばの味は皆なかなかのものだったようだ。釜田会員にいたっては何をおもったのか、そば打ち道具一式(2万4千円相当)を購入したのである。いずれ会員の前で、その腕前を披露してくれることであろう。

午後からはキックベースボール。東部の試行錯誤が感じ取れる変則ルールと強風の中、試合の行方は全く予想できなかったが、いざフタを開けてみればなんのことはなかった。4試合でホームラン15本と、ケタ違いの実力を見せつけた。

- 1回戦 西部A 4-0 東部A
寸評：岩崎(康)会員の満塁ホームランで快勝！
- 準決勝 西部B 14-1 東部B
寸評：夏野会員の3打席連続ホームラン等で完勝！
- 西部A 4-5 中部選抜
寸評：中部・大津会長の「口撃」に翻弄され惜敗…
- 決勝 西部B 12-0 中部選抜(3回コールド)
寸評：“いてまえ”打線ならぬ“やっちゃらいや”打線が爆発。「大人気ない！親睦になってない！」との身内からのヤジが飛ぶ中、あえなく中部選抜はギブアップ。爆勝！



場所を移動し、引き続き懇親会が行われた。古南県会長の挨拶のあと、参加者全員の紹介があり、和気あいあいと酒席は盛り上がりつつあった。ゴルフ、ソフトボール、キックベースボールとここ数年連続の西部に対し、「次年度はマージャンあたりで…(球技は絶対にしない!)」という発言も飛び出した。



最後に、奥森直前県会長の「東・中・西がひとつの団体としてこれからも頑張ろう。」の掛け声のもと、一本締めで幕を閉じた。一日中ビール漬けの皆様、たいへんご苦労様でした。

(広報：夏山裕一)

温故知新

～第20期会長の藤居忠弘先輩に話をお聞きました～

(中央会を振り返ってみて如何ですか?)

入会のきっかけは、元々関西出身のため、米子で友人を作りたいと思っていたところを角田OBに誘われて入会しました。入会した以上、出席を義務と考え、皆勤賞・精勤賞を毎年のように貰う優良会員だったと思います。おかげで2年目からは委員会の会計等もさせて頂きました。ところが私の所属していた委員会の委員長が転勤してしまい、副委員長が持ち上がりで委員長となり、会計を任されていた私が副委員長へと昇格しました。

当時は役員会に委員長と共に副委員長も出席していました。何回か出席するうちに役員会が好きになり中央会が面白くなっていきました。例会は一方的に聞くだけですが、役員会は意見が言えましたし、何より中央会や米子市のことがとても良く理解出来ました。

20周年の時には会長も経験させて頂きました。会長としての仕事は最初の2～3ヶ月で大体の枠組みを決め、後は流れに任せました。会長時には全ての委員会に出席したので夕食は殆ど食品会館で食べたように思います。しかし、今考えると余りにも自分自身が前に出た為に副会長には悪かった、とも反省します。

しかし会長を受ける以上、自分のカラーでやれと言われたのでそれを信じて1年がんばることが出来ました。そして1年が無事終わり、やれやれと思う間もなく夢みなど博の市民会議会長を仰せつかりました。おかげ様で当時を振り返っても、最後の最後迄充実した中央会活動をやったという満足感があり、悔いはありません。

自分にとっての中央会を振り返りますと、本当に利害関係のない人付き合いが増えたと思います。卒会してから他の経

済団体からお誘いを受け、「卒会して寂しいでしょ?」と言われますが、自分自身、完全燃焼したので全くそういう思いはありません。

(今の中央会に対して思うことは?)

ハンサムは何時も見させて頂きますが今となっては半数以上の方が知らない方で、世代の交代を感じます。

そして最近感じることを申しますと、錯覚して戴きたくないのですが、OB・先輩を敬い、後輩を可愛がるのは大切なことですが、学生ではないのですから対等な社会人としてのけじめを忘れないで戴きたい。中央会の後輩だからといってあごで人を使ったりしてはいけません。お互いに社会人としての付き合いが大切だと思います。

仕事での失敗は致命傷になることがあります。会ではある程度のことは許されると思います。組織の運営等は特に勉強になると思うので大いにのびのびと中央会活動を楽しんで戴きたいと思います。

(後記)

写真はたまたまドイツから藤居OBのお宅へホームステイに来ておられた御夫婦と一緒に取らせて頂きました。

ご自宅迄押し掛けての取材となりましたが、快くお引き受けくださり有り難うございました。

(広報：野川誠司)



9月度委員会報告

きずな委員会

平成13年9月6日(木) 於：米子食品会館 出席者/12名

内容/ リクルート企画 岡山支店長の中殿忠志様を講師に迎えリクルートの女性についてご講義いただいた。

「女性は目的意識が強く又、時間の使い方が上手い。これも男女平等の評価をしているのが原因のひとつでもあると思います。しかし女性の中にも周りに付いて行けず落ち込んでいく人もいますから、あくまでも性別差ではなく、個人差だと思います。

こういった女性を戦力化するのには、全て採用時にあります。どういう仕事をしたか、会社側はどういう意識で働いてくれるのかをお互いに話し合ってから採用しているので女性社員はモチベーションを保ち働いています。もちろん周りの人間がフォローをしてみんなで絆を深め合うことも大切な要因ではあります。

今はすばらしい女性を採用できるチャンスの時期だと思いますので女性雇用を考えてみるのも面白いと思います。」

情報メディア委員会

平成13年9月10日(月) 於：ホールサムインかいけ 出席者/13名

内容/ ①9月担当例会役割分担、及び打合せ。
②独自ドメイン取得について。

モラル委員会

平成13年9月4日(火) 於：米子食品会館 出席者/11名

内容/ 安部利夫OB・景川恭次OBを講師に迎え「中央会としてのモラル・社会人としてのモラル」について、体験をもとに語っていただきました。

経営委員会

平成13年9月13日(木) 於：米子食品会館 出席者/11名

内容/ 講師に第23期御卒会の大畑憲氏(ダックス(株)代表取締役)をお招きし、「21世紀の会社経営の課題」と題し、ご講演いただいた。

Newカマーズ委員会

平成13年9月6日(木) 於：米子食品会館 出席者/17名

内容/ 山本俊文OBと宇佐美明OBをお招きしての勉強会
両氏とも現役時代のおもいでを語られ、「青年中央会で人脈を造れたことが財産である。」そのためにも「委員長は一度は経験しなさい」と熱く語られた。

政治行政委員会

平成13年9月5日(水) 於：米子食品会館 出席者/12名

内容/ 「市町村広域合併について」ブレイクストーミング

①「市町村合併について」を題目に、この問題に対する出席会員の意識調査を行った。

②資料をもとに各会員の思った事、感じた事を発表した。

広報委員会

平成13年9月5日(水) 於：日本海情報ビジネス専門学校 出席者/12名

内容/ ①ハンサム10月号編集打合せ

②10月例会についての打合せ

③(財)発明協会鳥取支部 特許検索アドバイザー 奥村隆一先生を講師にお招きし、第2回知的財産の勉強会をおこなう。

・特許と実用新案、意匠と商標についての違い

・商標に関する訴訟事例

・「特許電子図書館ホームページ」の閲覧方法について

総務委員会

平成13年9月12日(水) 於：ホールサムインかいけ 出席者/10名

内容/ OB交流会打合せ。

知らぬが損する「IP」わぁ～んど

読者の皆様は「ジャンピングシューズ」で一躍その名をとどろかせた「ドクター中松」こと中松義郎先生をご存知だともいます。彼は、自称「エジソンよりも多くの特許を取った男」としてアメリカでも有名なのですが(真偽不明)、先月ご案内しました「特許電子図書館ホームページ (<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>)」で検索すると、

今までほとんどの日本人が知らなかった彼の驚くべき特許の数々を知ることができます。

その発明の中で読者の皆様に興味をそそられるであろう特許の名称を一部ご案内しますと…

・一歩前進トイレ [尿勢の衰えが気になる殿方のために…]

・居眠り運転防止枕 [車に枕を持ち込んで居眠りを防止する「中松マジック」の真髄!]

・埋没脱出器 [意味不明]

・セックス感度向上潤滑システム、機能を向上するCD [こ、これは凄い(かもしれない…)]

どうですか皆さん!! 興味をそそられたでしょうか? もちろんこれは彼の膨大な特許の「ほんの一部」でしかありません。この場で掲載を差し控えざるをえない「チン特許」もまだまだあるのです。

これから知的財産権(IP)を知っていく上で「特許電子図書館ホームページ」は非常に役に立つものなのですが、初めての方には操作しづらいところがあります。詳細については10月におこなわれる例会にて講師先生にお話ししていただきますが、その手始めとして是非「ドクター中松のIPわぁ～んど」へお越しください。

「ドクター中松のIPわぁ～んど」侵入方法

①「特許電子図書館ホームページ (<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>)」へ

②「特許・実用検索へ」のサービスメニューをクリック

③「7) 公報テキスト検索」をクリック

④「●公報種別」の「公開特許公報」か「特許公報」をマークし、「検索項目選択」欄に「発明者」と入力し、「検索キーワード」に「中松義郎」と入力(※「ドクター中松」ではエラーになります)

⑤「検索」をクリック

⑥「一覧表示」をクリックし、晴れて「ドクター中松のIPわぁ～んど」へ!

わたしを含めたIP初心者、まず自分の興味ある内容から扉を開いていったほうが長続きするとおもいます。

そういった観点からも中松義郎先生はうってつけだとおもいます。確かに、つい笑ってしまう内容のものや、「自分でもこの程度のことなら…」とおもわせるものはいくつか出てきます。しかし、特許の詳細説明の文章に見え隠れする彼の研究姿勢や着想の鋭さには正直驚きを隠せません。もし、いつまで経ってもその特異なキャラクターばかりに目を向けているようでは、わたしたちが「コロンブスの卵」から脱却を図ることは難しくなることでしょう。

(広報：植田寿雄)